



現場に“ときめき”をもたらし 飽きさせない仕かけが随所に

評者 小西竜太 前 関東労災病院救急総合診療科 部長

本書を読み終わったあと、ある研究者の顔を思い出しました。「私は論文発表する際には、研究に従事したすべてのメンバーの名前を入れています。なぜなら、それが仲間たちと一緒に頑張った証だからであり、読み返すたびに当時を思い出します」と、彼が話したことを。

本書は、臨床研究の初学者が正しい研究計画を立てることを目標とした教科書です。そう紹介すると、多くの類書にみられるような、単調で退屈な、途中で脱落してしまうような内容を想像するかもしれません。でも、タイトルに「ときめく」とつけるような筆者ですから、読者を飽きさせない仕かけを随所に埋め込んでいるのです！

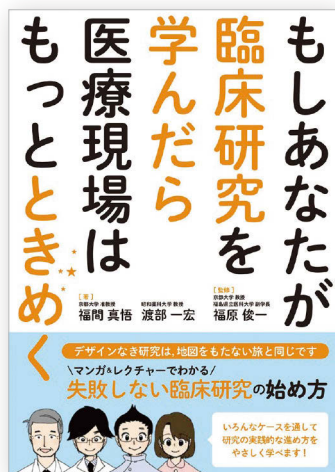
ストーリー仕立て、各章数ページにわたる漫画、多彩なイラストや図、コラムやケーススタディが散りばめられ、読者は一気に最終ページまで到達します。私は最初、漫画を見て安っぽい本という第一印象をもってしまいましたが、読み進めると、内容的な充実度・網羅性だけでなく、巧妙にデザインされた教育プロセスに圧倒されました。公衆衛生大学院で1年かけて学ぶエッセンスが、見事に凝縮されているのです。

アプリ連動で初めの一步を導く

とはいえ、この種の本を読んでも、実際に行動するまでにはたどり着かないことはありませんか？ ダイエットにせよ、筋トレにせよ、なかなか行動に移すのは難しいですね。本書で特筆すべき点は、「Q Mentor^{キユー・メンター}」というアプリが連動していて、自分のリサーチ・クエスチョンから構造化された研究計画を作成できるような仕かけもあることです！

最前線の医療現場で気づいた疑問や課題を解決する臨床研究は、患者さんだけでなく、みなさんの同僚やスタッフにも新しい価値を与えてくれるはずです。そんな現場全体が“ときめく”ような瞬間を味わいたいですね。そして、医師を続けていくなかで、そんな経験が一生の思い出となり、糧となるのでしょ

G



もしあなたが 臨床研究を 学んだら 医療現場は もっとときめく

福原俊一＝監修
福間真悟、渡部一宏＝著

定価：本体 3,600 円＋税
A5・280 頁／じほう／2019
[ISBN 978-4-8407-5150-6]